

五泉市小学校教育研究会社会科部の取組

1 活動のねらい

- ・新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、授業研究を進める。
- ・社会科に関する地域素材を探り、その教材化を図る。

2 活動内容

(1) 地域巡検

①巡検「ごみ焼却場」見学 平成23年6月29日(水)

ごみ処理の問題としてあげられるのは、不燃物が混ざっていることによる機械の停止である。過去には3回停止したことがあり、その都度大変な労力が必要となる。パチンコ玉や座椅子がベルトに挟まったというケースもあったそうだ。

②巡検「浄水場」見学 平成23年6月29日(水)

1人当たりの水の1日平均使用量から五泉・東部浄水場では地下水を汲み上げているので県平均や全国平均と比較すると数値が低くなっている。村松浄水場は他の浄水場と比較すると数値が高いが、工業団地がありその部分で高くなっている、などの話を聞いた。

停電になったとしても水の供給が滞ることがないように、汲み上げた水を一度高い場所(4か所)に送り、水圧で供給できることなども聞いた。

③巡検を終えて

ごみの回収、処理の仕事は、地域の人々の健康な生活を維持と向上に役立っている。実際にどのような仕事を行い、地域の人々の生活を守るためにどのような工夫を行っているかを、自分の目と耳で体験することはとても意義のあることである。

中学年の社会科には見学が欠かせない。「調べる」「まとめる」という活動が中心となりがちだが、見学という体験は大きい。資料化し具体とつなげる、数値の意味を考えさせるなど、どのような学習が高学年につながるのか、今後の大きな課題と言える。

(2) 授業研究(9月)

①日時・会場 平成23年9月28日(水) 五泉市立五泉南小学校

②研修内容 ア) 単元名 「火事を防ぐ」

イ) 授業者 番場 裕輔教諭(五泉南小学校)

③研修を終えて

授業をもとにさまざまな意見交換・情報交換が行われた。課題や資料の提示の仕方、見学の意図など子どもの意識が持続し単元をとおした構成を工夫することが大切であることが話し合われた。授業の事前協議会では、新学習指導要領を受けた、社会科で育成すべき「表現力」について社会科部全体で考えることができた。

3 成果と課題

○今年度の授業研修では「児童が提示された資料から根拠にもとづいて考えていく」実践を提案していただいた。資料の見方・扱い方について学び合えるよい機会となった。

○2回の巡検では「ごみ焼却場」「浄水場」の見学と地域教材に目を向け、環境学習の重要性についても学ぶことができた。

(文責 村松小 熊倉 祐之)